

東京都北多摩南部
地域保健医療
推進プラン
平成30年度～35年度
(2018年度～2023年度)

北多摩南部地域保健医療協議会

平成30年9月

北多摩南部地域保健医療推進プランの改定にあたって

我が国では少子高齢化が急速に進行し、高齢者割合の増加や生産年齢人口の減少に加え、人口が減少に転じると言われている2025年が目前に迫っています。人生100年時代を見据え、人々が住み慣れた地域で健康に暮らし続けていくため、国を挙げて、子育て支援や働き方改革、高齢者を地域で支えあう取組や、障害者への理解と自立支援に向けた取組など、社会を持続させていくための様々な取組が行われています。

こうした取組が有機的に機能していくためには、住民一人ひとりと、行政や地域の関係者が課題を共有し、協働しながら取組を推進していくことが大切であると考えます。

また、海外との往来の急増に伴う新興・再興感染症の脅威や、東日本大震災以降、各地で後を絶たない自然災害の発生など予測困難な災害等による、様々な健康危機への対策強化なども重要な課題です。

「東京都北多摩南部地域保健医療推進プラン」(以下、「プラン」という。)は、圏域の総合的な保健医療施策を推進するための包括的な計画として、平成16年3月に初めて策定されました。その後、二度の改定を経て、このたび、平成30年度から平成35年度までの6年間の計画期間とする改定を行いました。

プラン推進の中核を担う北多摩南部地域保健医療協議会は、改定にあたって、こうした社会状況の変化による新たな課題に的確に対応するため、様々な立場から知恵を出し合い、北多摩南部保健医療圏の市・関係機関・保健所が、今後取り組むべき施策を掲げました。

また、本プランは、圏域住民の方々の健康増進に向けた自主的・積極的な活動を期待するとともに、その方向性を示す役割を持っています。住民の皆様が、本プランを活用し、ご自身の健康はもとより、圏域の保健衛生の向上に積極的に貢献していただくよう心より願っております。

平成30年9月

北多摩南部地域保健医療協議会会長

石 館 敬 三

目次

第1部 総論

ページ

第1章 プランの考え方	2
第2章 北多摩南部保健医療圏の現況	
第1節 保健医療圏と基準病床数	5
第2節 地域特性、人口構造等	8
第3節 保健医療福祉資源の現状	17
第4節 東京の将来の医療	21

第2部 各論

第1章 保健・医療・福祉の提供体制の充実

第1節 生涯を通じた健康づくりの推進

1 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援	26
2 健康づくりと食環境整備	30
3 生活習慣病の予防	34
4 がんの早期発見	38
5 高齢者への支援	42

第2節 患者中心の保健医療体制の推進

1 保健医療提供体制の充実	46
2 在宅療養	52
3 認知症対策	56
4 医療安全対策	60

第3節 障害者保健福祉・難病患者等支援

1 障害児・障害者への支援	63
2 精神保健	67
3 難病患者への支援	71

第4節 歯科保健医療	75
------------	----

第5節 自殺対策	79
----------	----

第2章 健康危機管理体制の充実

第1節 食品の安全確保	82
第2節 生活環境衛生対策	86
第3節 アレルギー疾患対策	91
第4節 医薬品等の安全確保及び適正使用	95
第5節 感染症対策	
1 感染症対策	99
2 結核対策	103
3 HIV/エイズ・性感染症対策	107
第6節 新型インフルエンザ等対策	110
第3章 災害時における保健医療体制の構築	114
第4章 地域保健医療福祉における人材育成	119
第5章 プランの推進体制	121
プランの取組及び指標一覧	124

資料編

人口推移・世帯数推移（過去5年）	資-1
医療機関数・薬局数	資-2
病床数	資-3
圏域内の病院が担う疾病事業ごとの医療提供体制	資-4
がん診療連携拠点病院等（国指定）（都指定）	資-5
東京都脳卒中急性期医療機関数・圏域事務局	資-6
CCUネットワーク参画医療機関	資-7
認知症疾患医療センターの指定状況	資-8
圏域の救急医療体制	資-9
災害拠点病院及び東京DMAT指定病院一覧	資-10
東京都周産期母子医療センター・周産期連携病院の現況	資-11
東京都内における小児救急医療体制	資-12
高齢者福祉施設等	資-13
障害児・障害者支援事業所等	資-14
環境衛生関係施設数・食品衛生関係施設数	資-15
給食施設数	資-16
北多摩南部地域保健医療協議会 委員名簿	資-17